

割と多いのが甲状腺の病気。今回は吉川先生が教えてくださいます。皆さん、自分の首、チェックしてみてください。

(日下美穂)

気づきにくい

甲状腺の病気

甲状腺は、「のどぼとけ」の下にあり、ここで甲状腺ホルモンが作られ、全身の代謝を保つ大切な役割を持っています。甲状腺の病気は、症状が多様で余り知られていないため、なかなか気づきにくい病気のひとつです。

甲状腺ホルモンが増えたり、減ったりすると様々な症状が現れます。バセドウ病に代表される甲状腺機能亢進症では、倦怠感・やせ・暑がり・手指の震戦・動悸・イライラ・不眠・下痢などの症状が現れることがあります。橋本病（慢性甲状腺炎）に代表される甲状腺機能低下症では、倦怠感・むくみ・寒がり・除脈・脱毛・便秘・

不妊などの症状が現れることがあります。これらの症状は一般的によく見られるもので、心臓病、糖尿病、更年期障害、うつ病、認知症など別の病気に間違われることもあります。また首が腫れてくることがあり、甲状腺全体が腫れるびまん性腫大や甲状腺の中にしこりができる甲状腺結節があります。いずれも血液検査や超音波検査により、比較的簡単に診断できますので、これらの症状がいくつか思い当たる方は、甲状腺の病気がどうか一度チェックすることをお勧めします。

ヨウ素（ヨード）は、甲状腺ホルモンの成分として必須の栄養素ですが、欠乏、過剰のどちらでも甲状腺に有害な影響をもたらす事があるので、その摂取量には注意が必要です。しかし日本のように海産物を多く食べる国では欠乏症になることはほとんどなく、むしろ過剰摂取に注意する必要があります。橋本病などの甲状腺機能低下症の患者さん

が、ヨウ素を過剰に摂取すると甲状腺機能低下を誘発しやすいと言われてます。ヨウ素を多く含む昆布などの海藻類の食べ過ぎだけでなく、ヨウ素が配合された外国製サプリメントやイソジンガール（うがい液）の長期使用も原因となる場合があります。正に「過ぎたるはなお及ばざるがごとし」です。

よしかわ医院
院長 吉川幸伸



吉川幸伸医師
からの
ワンポイント
アドバイス

気になるその症状は甲状腺の病気かもしれないかもしれません。一度、甲状腺の検査を受けてみましょう。